



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 川西倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9322 URL <http://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若松 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長 (氏名) 福井 博

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,050	△1.2	334	△11.4	350	△5.1	194	△17.2
25年3月期第3四半期	17,258	△1.6	377	△16.2	369	△17.6	235	△6.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 288百万円 (27.4%) 25年3月期第3四半期 226百万円 (19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25.63	—
25年3月期第3四半期	30.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,611	15,826	63.5
25年3月期	25,079	15,615	61.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 15,632百万円 25年3月期 15,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,300	3.5	570	64.6	550	61.9	330	83.0	43.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	8,258,322 株	25年3月期	8,258,322 株
26年3月期3Q	653,708 株	25年3月期	653,708 株
26年3月期3Q	7,604,614 株	25年3月期3Q	7,604,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 02「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融政策等を背景に、円安・株高の影響による企業業績の回復が進み景気回復の兆しが見られます。一方、欧州の金融不安や米国の財政状況等の問題から海外での景気減速が不安視され、また、円安進行による原材料価格の上昇や消費税増税後の国内景気の下振れに対する懸念等もあり、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

物流業界におきましても、物流の合理化、高品質化への要求がますます強まり、これらの顧客ニーズに迅速に対応していくことが求められており、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、首都圏物流の構築、輸配送業務の強化およびNVOCC業務の強化等に積極的に取り組んでまいりました。当四半期においては、一部冷蔵倉庫貨物や国際物流事業での取扱いは増加しましたが、前年同期に比べ貨物取扱量が減少し、港湾運送業務、国内貨物運送取扱業務等も前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比1.2%減少の17,050百万円、営業利益は前年同期比11.4%減少の334百万円、経常利益は前年同期比5.1%減少の350百万円、四半期純利益は前年同期比17.2%減少の194百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①国内物流事業

国内物流事業においては、冷蔵倉庫業務では貨物の入出庫量、保管残高とも前年同期を上回りました。しかし、普通倉庫業務では入出庫量については前年同期と同程度で推移しましたが、保管高、保管残高が前年同期を下回り、国内貨物運送取扱業務等も減少したことにより前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比2.6%減少の14,283百万円、セグメント利益は前年同期比9.4%減少の768百万円となりました。

②国際物流事業

国際物流事業においては、輸出入貨物の取扱いが増加し、海外子会社の業績が堅調に推移したことにより営業収益は前年同期を上回りましたが、海外事務所経費が増加したこと等により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比7.2%増加の2,681百万円、セグメント利益は前年同期比34.1%減少の35百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比9.5%増加の120百万円、セグメント利益は前年同期比89.0%増加の22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、長期借入金の返済等により「現金及び預金」が減少し、減価償却により「有形固定資産」が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ468百万円減少し24,611百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、「長期借入金」の減少等により、前連結会計年度末に比べ679百万円減少し8,784百万円となり、また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、「利益剰余金」の増加等により、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し15,826百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,657,856	3,191,093
受取手形及び営業未収入金	3,346,707	3,536,019
有価証券	500,197	700,201
繰延税金資産	107,422	62,659
その他	532,666	660,526
貸倒引当金	△2,156	△2,325
流動資産合計	8,142,694	8,148,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,010,344	7,645,012
機械装置及び運搬具（純額）	484,897	466,434
工具、器具及び備品（純額）	116,807	127,481
土地	2,961,108	2,961,108
リース資産（純額）	1,070	—
建設仮勘定	25,941	—
有形固定資産合計	11,600,170	11,200,036
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	770,443	760,116
無形固定資産合計	2,667,978	2,657,651
投資その他の資産		
投資有価証券	1,001,315	1,023,436
長期貸付金	741,528	657,685
差入保証金	799,532	799,028
繰延税金資産	22,674	25,964
その他	111,454	103,710
貸倒引当金	△7,396	△3,863
投資その他の資産合計	2,669,109	2,605,962
固定資産合計	16,937,257	16,463,650
資産合計	25,079,952	24,611,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,916,267	2,000,931
短期借入金	1,305,689	1,206,052
未払法人税等	137,963	14,457
賞与引当金	228,832	77,010
役員賞与引当金	2,050	1,800
その他	450,141	456,959
流動負債合計	4,040,945	3,757,211
固定負債		
長期借入金	3,947,198	3,523,567
繰延税金負債	317,308	311,972
退職給付引当金	952,766	992,870
その他	206,527	199,327
固定負債合計	5,423,801	5,027,737
負債合計	9,464,746	8,784,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,862,230	1,862,230
利益剰余金	11,919,248	12,038,105
自己株式	△585,825	△585,825
株主資本合計	15,303,654	15,422,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,440	189,811
為替換算調整勘定	△14,688	19,717
その他の包括利益累計額合計	140,751	209,528
少数株主持分	170,800	194,835
純資産合計	15,615,206	15,826,875
負債純資産合計	25,079,952	24,611,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	17,258,139	17,050,120
営業原価	15,587,908	15,413,460
営業総利益	1,670,231	1,636,659
販売費及び一般管理費	1,292,606	1,302,043
営業利益	377,624	334,615
営業外収益		
受取利息	6,650	6,843
受取配当金	20,300	21,565
不動産賃貸料	11,550	11,211
その他	11,729	26,939
営業外収益合計	50,231	66,559
営業外費用		
支払利息	55,383	50,551
為替差損	3,092	—
営業外費用合計	58,475	50,551
経常利益	369,380	350,624
特別利益		
固定資産売却益	29,017	372
厚生年金基金清算益	38,882	—
特別利益合計	67,900	372
特別損失		
固定資産売却損	15	214
固定資産除却損	1,116	1,070
投資有価証券評価損	19,799	204
減損損失	—	30,929
役員退職慰労金	3,570	—
ゴルフ会員権評価損	6,800	—
特別損失合計	31,302	32,419
税金等調整前四半期純利益	405,978	318,577
法人税、住民税及び事業税	164,091	92,941
法人税等調整額	△4,305	17,027
法人税等合計	159,786	109,968
少数株主損益調整前四半期純利益	246,191	208,608
少数株主利益	10,764	13,705
四半期純利益	235,426	194,903

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	246,191	208,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,139	34,371
為替換算調整勘定	15,129	45,225
その他の包括利益合計	△20,009	79,596
四半期包括利益	226,181	288,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,226	263,680
少数株主に係る四半期包括利益	12,954	24,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,668,900	2,502,261	17,171,161	86,977	17,258,139	—	17,258,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	23,407	23,407	△23,407	—
計	14,668,900	2,502,261	17,171,161	110,385	17,281,546	△23,407	17,258,139
セグメント利益	848,314	53,259	901,573	12,088	913,662	△536,037	377,624

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△536,037千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△536,327千円及びその他の調整額289千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,283,781	2,681,454	16,965,236	84,884	17,050,120	—	17,050,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	35,975	35,975	△35,975	—
計	14,283,781	2,681,454	16,965,236	120,859	17,086,095	△35,975	17,050,120
セグメント利益	768,827	35,089	803,917	22,843	826,760	△492,144	334,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△492,144千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△492,385千円及びその他の調整額240千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(営業費用の配分方法の変更)

各報告セグメントの営業費用の負担を明確化し、業績管理をより適切に行うため、第1四半期連結会計期間より、営業費用の配分方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「国内物流事業」のセグメント利益が87,915千円増加、「国際物流事業」のセグメント利益が91,471千円減少し、「その他」のセグメント利益が3,556千円増加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、営業費用の配分方法変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「国内物流」セグメントにおいて、市場環境の変化に伴い、利用見込みが無くなったことによる処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び撤去費用を当第3四半期連結累計期間において、減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、30,929千円であります。